

2022 年度 日本地震工学会大会 優秀発表賞
JAEE Annual Meeting on Earthquake Engineering,
2022 Excellent Presentation Award

日本地震工学会では、日本の地震工学の将来を担う若手地震工学者の研究を応援するため、2009 年度の年次大会に「優秀論文発表賞」を設けました。

2022 年度は、北海道大学学術交流会館にて一般セッション、英語セッションを実施し、これらのセッションで発表をおこなった大会開催年度末時点満 35 歳以下の方を受賞候補者として「優秀発表賞」の表彰を行いました。

大会実行委員会委員会による評価をおこない、本会表彰規程及び優秀発表賞細則 に従い対象者の 1 ～2 割を目安に大会実行委員会の審議により受賞候補を選考いたしました。

その後、清野純史会長の承認を経て下記の 26 名の優秀発表賞を決定いたしました。

受賞者は以下のとおりです。心よりお祝い申し上げます。

番号 No.	受賞者氏名 Awardee Name (所属 Affiliation)	発表題目 Presentation Title
A-13-2	長坂 陽介 (港湾空港技術研究所)	相馬港における臨時地震観測および常時微動観測
A-22-1	小穴 温子 (清水建設)	画像分類とルールベースに基づく地震観測記録の採否判定システムの試作と課題
A-22-3	藤田 航平 (東京大学地震研究所)	高詳細三次元地盤震動解析手法の開発と、地盤歪のボリュームデータ可視化に関する基礎検討
A-24-1	土肥 裕史 (防災科学技術研究所)	海溝型地震の長期評価に基づく 4 海域統合確率論的津波ハザードの試算 -千島海溝・日本海溝・相模トラフ・南海トラフ沿いを対象として-
B-11-5	山田 晴香 (東京理科大学)	GAN と Semantic Segmentation を用いたマスク付き擬似建物画像による建物被害判定 CNN の構築
B-13-5	青木 康貴 (早稲田大学)	地震動・津波を受ける道路ネットワークの確率論的接続性の評価法および補強優先度判定への適用
B-21-3	飯田 彬斗 (エイト日本技術開発)	地震時の潜在的凍死者救助にかかる必要救助活動参加者数の推定 -北海道札幌商圏・函館商圏・稚内商圏を対象として-
C-11-1	王 澤霖 (東京大学)	RC 造柱梁部材の降伏点変形角のばらつきが建物の性能曲線における降伏点変形に与える影響
C-13-1	毎田 悠承 (東京大学)	方杖型ダンパー付き RC 造外付け耐震補強を施した梁せん断破壊型既存 RC 造部分架構の力学挙動
C-13-3	宇田 啓志 (大阪大学)	RC 造 L 形柱梁接合部に機械式定着された柱主筋の定着耐力に関する実験的研究
C-13-4	萩原 大樹 (東北大学)	高変動軸力が作用する RC 造 T 形柱・梁接合部の曲げ降伏後の軸崩壊発生条件に関する検討
D-11-5	東 祐輔 (京都大学)	中詰め材が石橋の固有振動数に及ぼす影響について
D-12-3	山本 翔吾 (筑波大学)	インフラ・ライフライン構造物の地震被害に関わるレジリエンスデザイン
D-13-5	山本 真太郎 (東京理科)	根入れを有する直接基礎・杭基礎における地盤ばねの底面・側面の寄与分離

D-21-3	Mary Wenzel Andaya (Tokyo Institute of Technology)	Effects of Long-Period Ground Motion of the 2019 Central Luzon Earthquake on the Response of High-rise Buildings in Metro Manila, Philippines
D-21-4	Jian Zhou (Kyoto University)	GENERATION OF ROTD100 SPECTRUM-COMPATIBLE BI-DIRECTIONAL GROUND MOTIONS WITH SPECIFIC ORIENTATION ANGLE
D-22-6	YEOW Trevor Zhiqing (東京大学地震研究所)	DEFORMATION MODE-DEPENDENT SAFETY LIMIT ESTIMATION FOR BUILDINGS WITHOUT SENSORS ON SOME FLOORS: RESEARCH OUTLINE
D-24-2	SANJEEV BHATTA (SAITAMA UNIVERSITY)	POST-EARTHQUAKE MULTICLASS DAMAGE DETECTION OF REINFORCED CONCRETE BUILDINGS USING QUANTUM CONVOLUTIONAL NEURAL NETWORK
E-11-6	磯部 祐輝 (中央大学)	柱状体基礎の地震時残留沈下特性に関するアルミ棒積層体を用いた模型水平載荷実験
E-12-3	高嶋 勇太 (大阪市立大学)	接合部降伏するRC造ト形柱梁接合部におけるX形補強の補強効果に関する解析的検討
E-21-1	永井 智基 (東北大学)	曲げ降伏型鉄筋コンクリート部材に対する補修後の構造性能の回復度の評価
E-21-6	Alex Shegay (東京工業大学)	CHARACTERISTICS OF STRAIN AGEING IN SD345 REINFORCEMENT AND ITS EFFECTS ON REPAIRED STRUCTURES
E-22-6	崔 烘福 (東京理科大学)	中性子イメージング技術を用いた接着系あと施工アンカーにおける接着剤未充填部の特定手法
F-21-4	中野 尊治 (大阪大学)	変位制御材と磁石を用いた基礎絶縁建物模型の振動台実験と三次元FEM解析
F-23-4	牧 菜里 (慶應義塾大学)	長周期地震動によるセンターコア型二軸対称超高層建物のQ- Δ 共振に関する立体骨組解析
F-24-1	西野 風雅 (中央大学)	地震時開削トンネルと周辺地盤の剛性比に着目したせん断土槽実験 ～回転拘束した函体着底条件での実験的検討～